

このたび認証が更新された「ダイヘン本社ビル」(大阪市淀川区)は、4年前の本社ビルの建て替えに伴い整備された、在来種主体の植栽から成る「ダイヘンの杜」を、将来に渡って育てていく取り組みです。

評価された主なポイントは以下の通りです。

地域本来の自然をお手本に

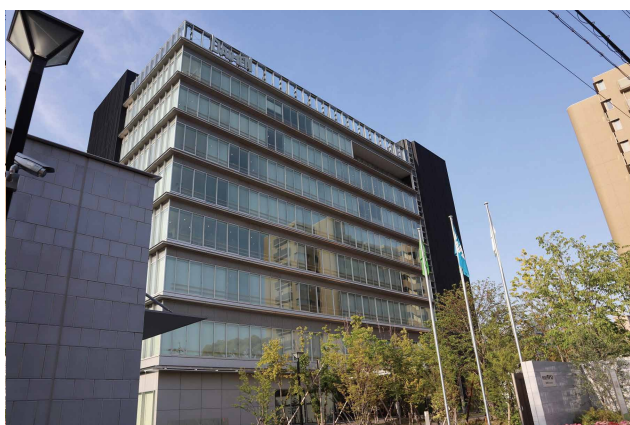
ケヤキやアラカシ、クロガネモチ、ヤブコウジ、ヤブランなど、日本在来の木々や草花を用いた植栽がなされており、植栽は一律に刈り込み・剪定を行わずに自然な樹形で管理されています。また、敷地の南側部分はクスノキを中心とした「鎮守の森」が残されています。



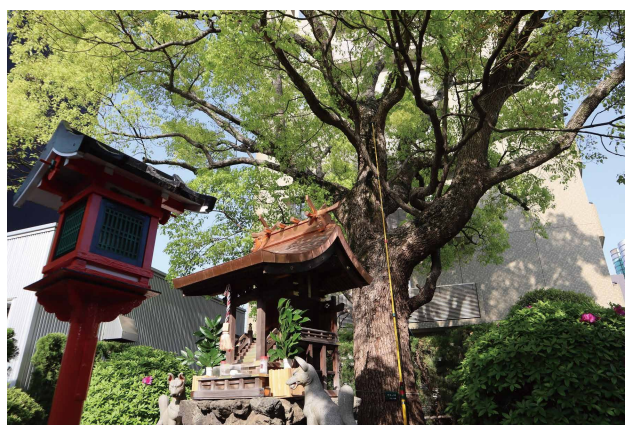
評価対象事業の位置

地域の生態系ネットワークの拠点を目指して

今後も取り組みが持続され、集約的な都市環境である淀川区において、生態系ネットワークを回復する拠点となっていくことが期待されます。



ダイヘン本社ビルの外観



「鎮守の森」のクスノキ